

(別紙3)

北海道における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ (エゾシカ)
技術名	多雪地域における囲いわなによる捕獲技術
実証地域	石狩・江別区域、留萌・小平区域
実証時期	令和4年11月～令和4年3月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

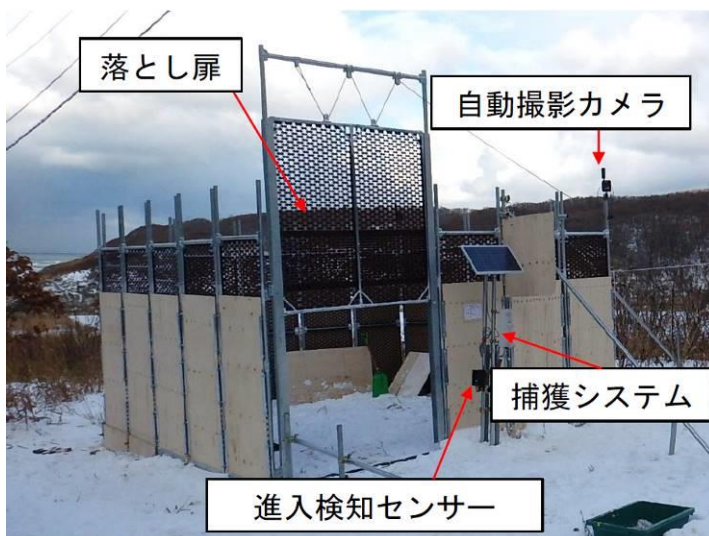
2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

- 北海道エゾシカ管理計画（第6期：R4～8）に基づき個体数管理の取組を進めているが、エゾシカの推定生息数・農林業被害額等は依然高水準で推移していることから、一層の捕獲推進が必要。
- 本道では、市町村による捕獲が困難な鳥獣保護区等において、指定管理鳥獣捕獲等事業による計画的な捕獲を実施。東部地域など高密度生息域を中心に事業を実施し、一定の捕獲実績を上げている。
- 一方、エゾシカ生息域の拡大に伴い、北部地域や中部地域の多雪地域でも生息数が増加していることから、これまでの銃猟に加え、昼夜問わず捕獲可能なわな猟の推進が必要だが、積雪による影響をどのように対処するか課題がある。

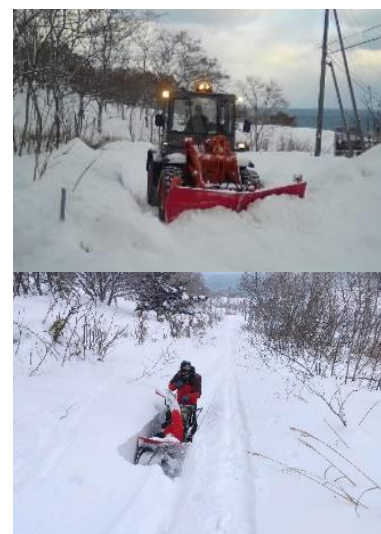
3 地域実証する技術の概要

【多雪地域における囲いわなによる捕獲技術】

除雪により囲いわなへの誘導路を作設してエゾシカを捕獲する手法や、囲いわなの構造を多雪・強風に耐える構造とするなど、多雪地域における囲いわなの効率的な管理方法の確立と捕獲の実証を行う。



多雪・強風に耐える囲いわな構造



除雪による誘導路作設

注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

○多雪・強風に耐える囲いわな構造

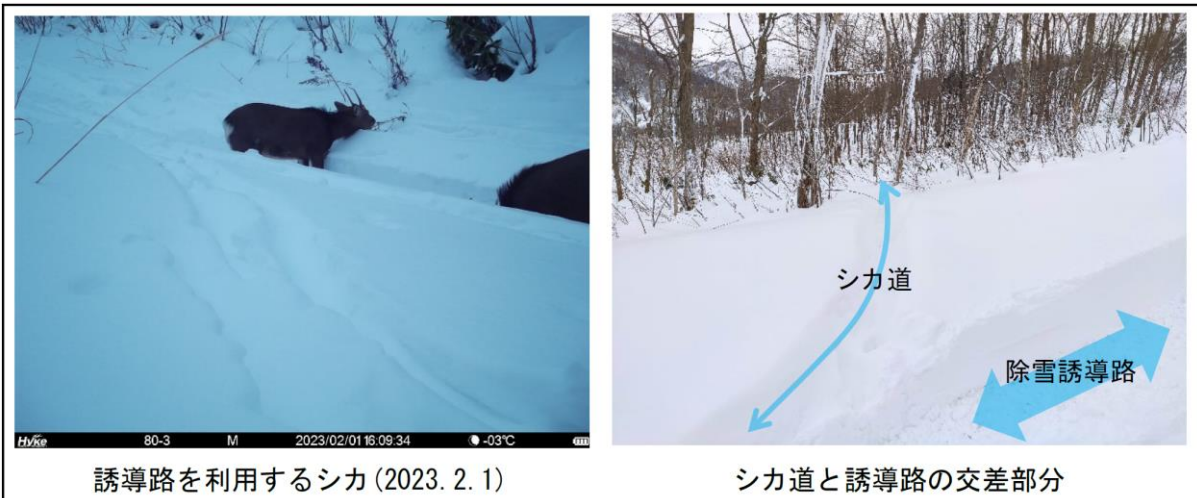
- ・留萌・小平区域では、強風による雪の吹きだまりが発生しやすいことから、金属枠とパンチングメタル、コンパネを組み合わせた小型囲いわなとした。
- ・石狩・江別区域では、囲いわな内を除雪ローダで除雪できるように、開口部を広く設ける構造とした。



開口部の広い囲いわな

○除雪による誘導路作設

- ・積雪がエゾシカの体高（肩高）を超えるような多雪地帯では、エゾシカは移動時に体力を消耗するのを防ぐために、針葉樹林内などの雪が少ない箇所に避難するとされている。
- ・自動撮影カメラから誘導路をシカが利用していることが確認された。給餌と組み合わせることで、積雪により餌の確保が難しくなったシカを囲いわなまで誘導するのに有効であることが確認された。



誘導路を利用するシカ (2023. 2. 1)

シカ道と誘導路の交差部分

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

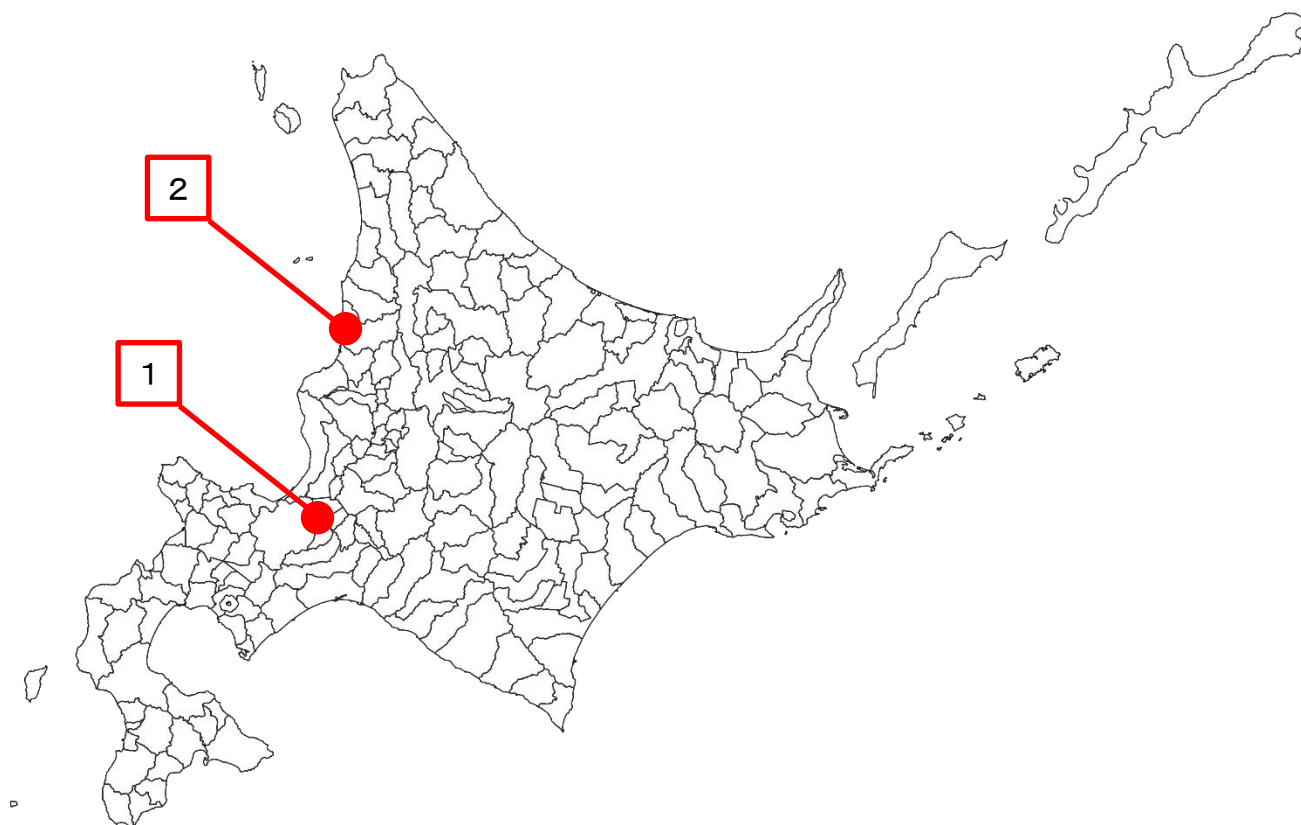
5 その他

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

(別紙3添付)

令和4年度 効果的捕獲促進事業（効果的捕獲モデル・技術開発タイプ）

実施位置図



CC0 Hokkaido

1	石狩・江別区域
2	留萌・小平区域